

# 緑が丘



—「自分できめる」「みんなと決める」—  
～今日も「学校が楽しかった」～

令和7年 11月 4日発行 三木市立緑が丘小学校

## 満月(スーパームーン) ～見えるもの 見えないもの～

朝、一息の深呼吸。ピーンと全身が引き締まる季節を迎えました。空も高く、何をしても気持ちのよい時期です。

さて、今年のスーパームーンは11月5日 22時19分。2019年以来の最大の満月だそうです。スーパームーンとは、月が地球に最も近い軌道上の位置にある「近地点」で満月になる現象です。月の大きさが変化して見えるのは、地球を公転する月の軌道が、わずかに楕円形をしているためです。今年最小の満月(4月13日)と比較すると見かけの直径は最大で約14%大きく、30%明るく見えるとのこと。そのほかにも、11月



は、12日頃に、おうし座北流星群、18日未明には、しし座流星群がピークを迎える見込みです。20日に新月となるため、月はほとんど欠けており、暗闇の中で天体ショーを楽しむことができます。冬の星座の代表ともいえるオリオン座、おうし座なども夜空に輝きます。なにかと気ぜわしく感じる時、行き詰まりを感じた時などには、深呼吸し、夜空をゆっくり眺めてみるのはどうでしょうか。何を感じ何が見えるのでしょうか。

また日本では、月の模様は「ウサギ」と見ると言われていますが、国によって「ガマガエル」「カニ」「ライオン」「ワニ」とって見立てられるものが違います。「ウサギ」の見立てがインドの物語から中国、日本に伝わってきたように、文化の伝達に従って物語も伝わっていくということもあるでしょう。人類最初の月面着陸は、1969年アポロ11号でした。以来、合計6回、12人の宇宙飛行士が月面を歩きました。「これは1人の人間にとっては小さな一歩だが、人類にとっては偉大な一歩である。」(ニール・アームストロング船長)「地球が青かった」(ソ連の宇宙飛行士ユーリ・ガガーリン)の言葉が知られていますが、スタートは夢や憧れ、そして「何かあるんだろう」「やってみたい」「行ってみたい」という好奇心だったと思われます。

月は月。変わらないものですが、見方によって見え方も変わるようです。見えるものを楽しみつつ、見えないものも大切に、大切にされる毎日でありたいと思います。(校長 佐野順子)

「本当に大切なものは目には見えない。」(『星の王子さま』 サン＝テグジュペリ作)

こだまでしょうか  
金子 みずぶ

「遊ぼう」っていうと  
「遊ぼう」っていう。

「馬鹿」っていうと  
「馬鹿」っていう。

「もう遊ばない」っていうと  
「もう遊ばない」っていう。

そして、あとで、  
さみしくなって

「ごめんね」っていうと  
「ごめんね」っていう。

こだまでしょうか。  
いいえ、誰でも。

